

平成28年度第4回滋賀森林インストラクター会定例研修会

音羽山 593.4m

滋賀森林インストラクター会では、会員のスキル向上を目的に定例研修会や県外研修を実施しています。一般の方の参加を募集するときは、ホームページでもご案内いたしますので、是非ご参加ください。

さて、音羽山での定例研修会は今年度最終回でした。ご紹介します。

日 時： 2016年12月4日(日) 9:00～15:00

天 候：曇り

参加者：6名（大人5人 小学生1名）

行 程：JR 石山駅改札口 8:50 集合 — 京阪バス 9:08 発 — 国分団地 9:21 着
— 三田川都市対策砂防口 9:48 着 — 鳩ヶ池横 9:58 通過 — 第三橋 10:30 通過
— 西山路傍休憩地 10:40 着 — 第四橋 11:08 通過 — 第五橋 11:27 通過
— 府県境稜線 パノマラ台 12:20 着（昼食）12:40 発 — 音羽山山頂 13:03 着・
13:20 発 — 音羽山路傍休憩地 13:34 着・13:40 発 — 無線中継塔
— 逢坂山歩道橋 14:28 通過 — 蟬丸神社 14:38 着 — 京阪大谷駅 14:50 解散

観察できたもの：

国分団地 — 三田川都市対策砂防口



← ムクロジ 偶数羽状複葉 果皮はサポニンを含み昔はシャンプーとして使われ、核は羽根つきの球に使われた



サネカズラ

樹皮の粘液が整髪剤として使われた。
そのことからか、美男葛ともいう。



↑ ウメノキゴケ SP

←
カナメモチ

⇒
マンリョウ



↓ ビロードイチゴ ふかふかの葉っぱ 果実もおいしい (5~6月熟す) 大津市周辺に多い



↑ ヒイロタケ



↑ 三田川都市対策砂防

三田川都市対策砂防口 — 鳩ヶ池横



↑ ジャケツイバラ 棘が逆向きで最強の茨、ただし花付きの枝には棘がない。



↑ 東海道自然歩道

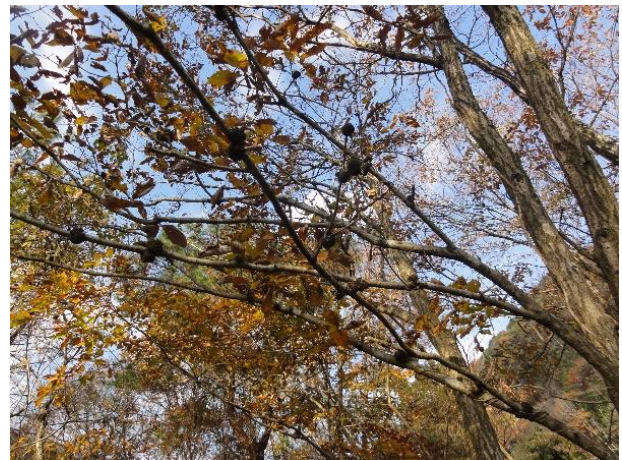


⇒ ノイバラ

鳩ヶ池横 — 第三橋



← アベマキ



↑ コナラ瘤病

夏胞子はマツに、冬胞子がコナラに寄生する。

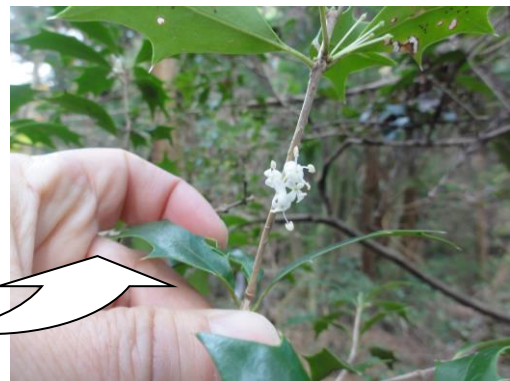


←↑ タカノツメ マルトールの甘い匂い



←↑↓ ヒイラギ

上の葉は丸く、下の葉は鋸歯が鋭い
ジャスミンのような花の香り





↑ ムラサキシキブ

← エゴノキ

老木の黒っぽい幹

第三橋 — 西山路傍休憩所



↑ フクロツチガキ → イタビカズラ



イチジク属の蔓性植物で枝を傷つけると白い乳液が出る。

西山路傍休憩地 — 第四橋



↑ みんなでケケンボナシの果実拾い

→ ケケンボナシ



滋賀県はケンボナシより圧倒的にケケンボナシが多い。

ケケンボナシの葉が乾くと赤褐色になるがケンボナシは濃緑色のまま。



↑ ナメコ

← タマミズキ

→ ケケンボナシ



←↓↓ ヤブニッケイ

第四橋 — 第五橋



← ウメモドキ 葉がウメの葉に似ているので
ウメモドキ 果実は落葉後も落ちずに残る。



↑↓ ザトウムシ 米国では Daddy Longlegs あしながおじさんと呼ばれている。



第五橋 — 府県境稜線 パノマラ台



↑ コケシノブ SP.



↑ スギヒラタケ



← ヌリトラノオ



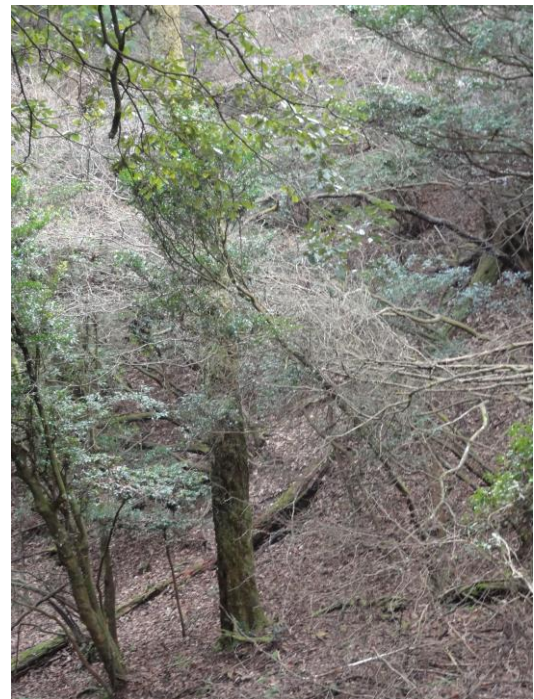
← → ↑
溪流



↑ サンショウソウ

→ リュウキュウマメガキ

別名シナノガキ 分布は関東地方以西



←
仮称カレキタケ



府県境稜線 パノマラ台 — 音羽山山頂

↓ シロモジ



↓ タマミズキ



← シキミ



→ クロモジ

リナロールの匂い



← ベニタケ SP.

音羽山山頂 — 音羽山路傍休憩地 — 無線中継塔 — 逢坂山歩道橋



↑ スミレモ



← シキミの花



→↓↓ クロバイ 葉柄、冬芽（葉芽）が赤い。



←↑ イズセンリョウ



逢坂山歩道橋 — 蟬丸神社



↑ タマミズキ



その他、観察できた植物（下見を含む）

タカノツメ、ツルグミ、モチツツジ、コシアブラ、チャノキ、フジ、ヒサカキ、シロダモ、アオハダ、ヤマコウバシ、オオカメノキ、カナクギノキ、アセビ、カマツカ、ネジキ、ソヨゴ、アカマツ、イズセンリョウ、アリドオシ